

第3次
第7区まちづくり計画

令和6年4月1日

第3次第7区まちづくり計画 目次

I まちづくりのテーマ

1. 環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくりと環境変化（コロナウイルス感染症） 1
2. 第7区らしさ 1
3. まちづくりのテーマ 3

II テーマ別行動計画

1. 環境美化活動を推進するまちづくり 5
2. 安全で安心して暮らせるまちづくり 6
3. 伝統文化をみんなで支えるまちづくり 8

■ 第7区まちづくり計画 事業一覧表 10

■ リーディングプロジェクト：秋光川さくら遊歩道の整備図 11

○第3次第7区まちづくり計画について

この「第3次第7区まちづくり計画」は、平成24年3月に基山町まちづくり基本条例第17条に基づき策定された「第7区まちづくり計画」が策定から10年を超えており、実施する事業の内容を整理し、第7区内の動向や社会的、経済的要因などによる情勢の変化に応じて、事業の適切な施策の展開等を図るため、見直しを行うこととしており、必要な見直しを行いました。

なお、今後も事業の適切な施策の展開等を図るため、3年毎に見直しを行うこととします。

区分/年度	平成									令和													
	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
策定年度	○																						
(改定年度)										◎			◎			◎			◎			◎	
計画の期間																							
見直し年度										○			○			○			○			○	

I まちづくりのテーマ

1. 環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくりと 環境変化（コロナウイルス感染症）

地球温暖化（台風、大雨、地震他）の対策として、世界中で脱炭素社会の取り組みが拡大しています。

環境への関心の高まりの中で、人々の生活の価値観も変化しつつあります。

それは、モノより心の豊かさ、量より質、効率より潤いへ、

より自分らしい生き方を尊重するライフスタイルへ変化してきています。

このような生活に関する価値観の変化は、地域に対する考え方にも表れ、特に東日本大震災、水害、コロナ禍等、以降、安全で安心な暮らしを求めるようになりました。

これからの地域づくりでは、「環境に配慮しつつ、コミュニティが豊かで、地域資源を活かす地域づくり」が目標となると思われます。

この多岐にわたる地域づくりを生活環境の整備から交流、伝統行事の継承から人材育成といったことがらを多様なレベルで調和させ、地域の個性や快適さを醸しだし、コミュニティ豊かな地域にするためには、まず、そこに住む住民が自ら地域の将来像を描きだし、自分たちの力で積極的に推進していくという姿勢が必要です。

地域の個性や快適さは、人それぞれに感じるものが違いますので、地域づくりに対する合意を形成していくことが大切になってきます。

もちろん歴史に育まれたコミュニティも残っていますが、様々なまちづくり活動を通して新しい時代に応じたコミュニティを再構築していくことも必要です

2. 第7区らしさ

第7区のまちづくりでは、第7区がもっている個性を活かして、基山町の他の地域や周辺地域とは違う地域づくりをしていくことが大切であると思います。

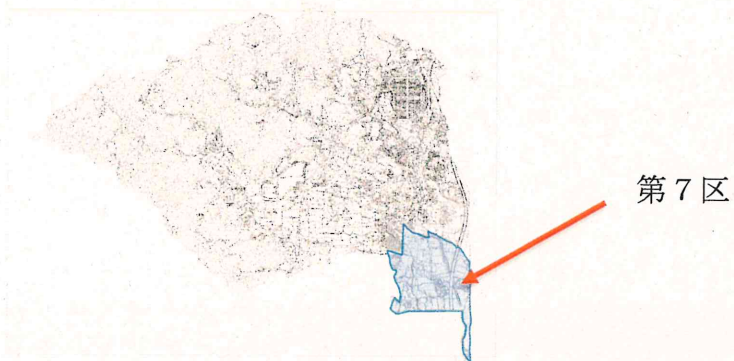
では、第7区らしさとは何でしょう。

第7区を特徴づけているものとして、交通幹線（国道3号、九州自動車道、JR鹿児島本線、甘木鉄道）が南北もしくは東西に通り交通の便がよく、北西から南東に流れる秋光川の低地とその両側に工業団地が立地していますが、コミュニティ豊かな古くからの集落も息づいていることです。

特に、秋光川沿線では、地域の方々の努力で、さくら遊歩道の整備が進み、第7区のまちづくりのシンボルとなっています。

これらの特徴、人的な資源、各集落に存在する歴史的資源などを活用しつつ、新たな色づけを検討していくことが第7区のまちづくりには必要です。

・第7区位置



秋光川ウォッチング



3. まちづくりのテーマ

第7区の個性を活かし、魅力的な地域にしていくためのまちづくりの総合テーマを

桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区

とし、この総合テーマをより具体的に展開する3つのサブテーマで構成します。

①総合テーマ

「桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区」

第7区は、基山町の南部の平地にあり、国道3号やJR鹿児島本線などで分断され、工業団地が多くの面積を占めているものの、古くからのコミュニティが息づいている地域です。

「桜でつなぐ心の絆」は、

第7区で取り組まれている秋光川のさくら遊歩道の環境活動で、地域が有している豊かなコミュニティを残すとともに新たな展開で新しい地域の絆を構築していこうという気構えを表しています。

「自然と歴史が」は、

工業団地が目立つ第7区ですが、地域をみていくとそこには古くからの集落とともに集落ごとにある寺社仏閣があり、伝統的な行事も継承されています。

工業団地造成で失われかけた自然環境も地域の方の水質改善への取り組みやさくら遊歩道の環境活動への取り組みで関心が高まっています。

「息づくまち 7区」は、

歴史や自然を活かしたまちづくりを展開していこうという意気込みと地域のコミュニティの豊かさをしめしています。

天気の良い日は、さくら遊歩道を楽しみながら、集落ごとの神様を巡るウォーキングやサイクリングをするのも良いのかもしれません。そのような景観環境と生活環境を整えていくことが「第7区」のテーマです。

②サブテーマ1：「環境美化活動を推進するまちづくり」

環境美化というと集落で行う清掃活動を思い描かれる方も多いとおもいますが、ここでいう環境美化活動は、地域環境の改善活動まで含めたもので、秋光川

沿線のさくら遊歩道の維持管理活動が中心となります。

もちろんそこには、自宅や集落での美化活動を行うことが基本としてありますが、秋光川の環境整備は、環境改善に取り組む 7 区のシンボリックな活動として位置づけられます。

区民も来街者も憩える場づくりを通して、周辺企業との連携・交流や地域のコミュニティの醸成を図っていきます。

③サブテーマ 2 : 「安全で安心に暮らせるまちづくり」

7 区は、交通の要衝であるが故に、危険箇所も多くあります。

また、工業団地があったり、通学途中で人の目が行き届かないところがあるなど防犯上の問題箇所もあります。

加えて、秋光川の周辺の低地が広がっており、洪水や内水氾濫の危険性もあります。

近年外国人の研修生や、外国人労働者が増加し 2020 年基山町の在住外国人 247 名 1.4%で周辺町村も増加している現状です高齢化も急速に進み 7 区組合世帯 165 世帯に対し 1 人世帯 29 戸 2 人世帯 52 戸高齢化率 33%公民館を中心に高齢化世帯の取り組みが必要です、安全で安心な暮らしのために地域の現状をみんなで確認するようなマップづくりを行うとともに、そのマップを活かした活動や防災体制づくりを区民で検討することが必要です。

④サブテーマ 3 : 「伝統文化をみんなで支えるまちづくり」

第 7 区では、様々な組織が年間を通して数多くのイベントや歴史的行事が行われており、それらを第 7 区全体として、運営する多くの人たち（組織）も活発に活動しています。

しかしながら、工業団地の企業との連携や世代間の交流などを通した行事の継承、活動資金などの課題が多くあります。

そのためには、地域を構成する様々な団体と行政との連携を図り、第 7 区を楽しむ、第 7 区を知る、第 7 区を売り出すなど行事の体系化を図っていくために、自立した運営に向けた仕組みづくりをする必要があります。

Ⅱ テーマ別行動計画

1. 環境美化活動を推進するまちづくり

ここでは、秋光川沿線のさくら遊歩道づくりとその維持管理活動が中心に事業を示していますが、自宅や集落での環境美化活動を行うことが基本としてあります。

①さくら遊歩道の整備と管理

秋光川の環境整備は、現在の活動を継続しつつ河川公園としての整備を図っていくもので、環境改善に取り組む 7 区のシンボリックな活動として、区民も区外者も憩える場づくりを行い、周辺企業との連携・交流や地域コミュニティの醸成を図っていきます。

※周辺の企業からベンチを 2 個寄付していただき散歩する人の休憩所となっています。又ベンチ周辺に住民の方が花等が植えられる様になりました。

今後も区民や来訪者が憩える場所の充実を図る。

植樹・植栽の推進と管理

現在、秋光川右岸にさくらの植樹とあじさい左岸に河津桜と皇帝ダリアが植えられています。

今後も剪定と管理の充実を行います。

※桜の木が大きくなりすぎ工場側の通路迄伸びている為枝の伐採が早急の課題。河津桜を植えたため皇帝ダリアが、枯れてしまいましたので皇帝ダリアの管理は、中止したため、別の植樹を検討し管理の充実を図る。

②遊歩道の舗装と周遊化

さくらロード右岸は、舗装、整備は進んでいますが、左岸も舗装整備を進め左岸、右岸含めた周回コースづくりを計画します。

他の道路を利用して周遊コースを設定する。

※町づくり提案を行い長期的に取り組んでいく。

③みどりの日の継続

毎月第一日曜日の除草等の活動が行われています。大変な作業ですが、地域でしっかり話し合って、負担にならない仕組みと区以外の方でも気軽に参加できる仕組みをを検討します。

※毎月第一土曜日河川公園を目指し草刈り、ゴミ拾い等を区民で行い、桜ロードの整備を実施する。

④街路灯の整備

夜間や夕暮れの安全を考えると防犯灯を兼ねた照明が一定の感覚で欲しくなります。環境を考えると太陽光LED照明をさくらロード左岸に設置し右岸にも拡大し、街路灯の活用も検討する。

※右岸は、日当たりもよく草が伸びすぎて、伐採に時間がかかる為設置は、困難で拡大は、断念しました。桜ロードに16基取り付け令和5年度で完了。

⑤河川の見守り活動

秋光川河川を中心に清掃活動と河川パトロールを実施河川の清掃活動を実施する。

※年間2回秋光川一斉草刈り時に実施していく。

2. 安全で安心に暮らせるまちづくり

安全で安心な暮らしのために地域の現状をみんなで確認するようなマップづくりを行うとともに、そのマップを活かした活動や防災体制づくりを区民で検討することが必要です。

①防災（自主）の緊急連絡体制の充実

各組合毎の緊急時の連絡手法と体制の確立を検討する。

※7区の運営委員で公害対策委員の名称を変更公害、災害対策委員に変更し、災害対策委員会を開催しました。令和4年度の災害に備え、発電機、持ち運び出来るトイレ、リヤカー、水害対策ゴムボート、サーチライト等の備品を品揃えた。緊急時の連絡体制等を確立していく。

②避難訓練の実施

基山町ハザードマップを利用して、実際の災害を想定して避難訓練を計画し。災害時における災害弱者の避難支援の方法や、避難経路の確認を検討する。

※民生児童委員と連携して計画していく。

③防犯・交通危険箇所調査

7区は、交通の要衝であるが故に、危険箇所も多くあります。また、工業団地があったり、通学途中で人の目が行き届かないところがあるなど防犯上の問題箇所もあります。

日常生活での危険箇所を調査し、情報を共有します。

※見守り活動前にゴミ拾いを実施、特に瓶、缶等危険物の発見ができるように通学路除草剤散布し通学路の安全を確保しています。夏場は、除草しないと草が2メートルになり通学道路がゴミ捨て場にならないようにしていく。

④子ども見守り隊の発足

ウォーキングをする人が増えています。できれば、ただウォーキングをするのではなく、子どもの通学時間帯にさせていただくことができれば、見守り活動につながる。

※月曜日～金曜日毎朝見守り活動を実施現在9名で実施。年2回会合を開き問題点を協議し改善活動を実施していく。

⑤高齢化社会に向けた体制づくり

公民館、地域のお宮が活動の場として通いの場、卓球広場等ロコモ予防の活動を推進する。

※通いの場は、毎月4回金曜日10時～11時の予定で活動7区公民館、野口お宮、西長野のお宮、行っています。卓球広場は、高齢で、けが人が多く発生して、現在休止中のため、再開に向けて検討していく。

3. 伝統文化をみんなで支えるまちづくり

第7区では、様々な組織が年間を通して数多くのイベントや歴史的行事が行われており、それらを運営する多くの人たち（組織）も活発に活動していますが、工業団地の企業との連携や行事の継承、活動資金などの課題が多くあります。

やはり、第7区全体として、地域を構成する様々な団体と行政との連携を図っていくことが必要となります。

①公民館活動（出前講座等、）の充実

公民館活動は非常に盛んであり、かなり高度な講座も開催されていますが、公民館に出て来れない人やその利活用をスムーズにする工夫を行います。

※7区サロンを中心に消費生活問題等9月に出前講座を実施7区サロン、子どもクラブと7区自治会と連携して8月に七夕祭りを実施しました。活動を継続する。

②ドンキャンキャン等伝統的行事の振興

7区にのこる伝統的行事の継承と伝承を少子化に対応した仕組みづくりや呼びかけを行うとともに次代を担う子ども達や若者の育成を図ります。

※西長野組合だけでは、御幸祭り鉦浮流の人員が足りない特に子供が足りない為7区全組合に呼びかけ人員不足を解消。7区区民の協力で令和5年9月23日に4年ぶりに御幸祭りが開催され西長野組合の鉦浮流も参加出来ました。

③工業団地企業等との交流の場

工業団地の企業も地域の宝です。地域と工場の相互交流を通して地域の一員として協力してもらうような環境づくりを行います。（42社の企業を年間2回訪問）

※東洋製罐（株）工場前の横断歩道の白線が消え、トラックが頻繁に通り大変危険でした。工場側と連携を取り7区から改善提案書を発行し、横断歩道白線の修復を完了。（何年も改善されなかった為大変感謝されました。）

コカ・コーラの駐車場が移動した為通勤時の問題点を会社側と、役場と7区で立会いを実施し3項目の改善提案を7区から提案し役場を中心に改善、検討中していく。

④野口調整地の整備活用

グラウンドゴルフやイベント会場として活用するとともに維持管理を検討します

※グラウンドゴルフ愛好会年 2 回大会開催練習は水曜日、土曜日、桜クラブ年 1 回大会開催、7 区区民グラウンドゴルフ大会年 1 回開催、整備については、年 6 回実施。

⑤桜まつり等のイベントの実施

さくら遊歩道を活かし、整備の促進を図るイベント企画を行います。
桜ロード、ウオークを企画を検討し推進する。

※毎年 3 月末の開催で、新型コロナウイルス感染症者が多発し、接触を避ける
為桜ロードウオークを実施。

■基山町第7区まちづくり基本計画（※赤字は環境美化活動、紫安全で安心まちづくり、青伝統文化を支える）

令和6年4月1日～

テーマ	サブテーマ	まちづくりの展開	まちづくりのメニュー	内容	令和8年度	令和11年度	令和14年度	地域	行政	協働	リーディング事業	
桜でつなぐ心の絆 自然と歴史が息づくまち 7区	環境美化活動を推進するまちづくり	地域への思いと現状を知る 未来図を描く 地域の見直し これまでの活動を活かす 地域にこだわる 秋光川 歴史資源 伝統行事 コミュニティを深める ふるさと7区	①さくら遊歩道の整備と管理	現在の活動を継続しつつ河川公園としての整備	○	○	○	○	○	継続	秋光川 さくら遊歩道の整備 秋光川河川公園として区民や来街者が気持ちよく憩える河岸遊歩道づくりを協働事業として行う。また、自然再生事業等による環境改善や水質の向上に取り組むとともに秋光川河川のパトロールを強化し維持管理体制づくりを検討する。	
			②遊歩道の舗装と周遊化	周回コースづくり対岸の道路の整備（対岸の舗装）	○	○	○	○	○	○		継続
			③みどりの日の日の継続（区の事業として継続）	毎月7日の除草等の活動を発展継続第一日曜日に変更	○	○	○	○	○	○		継続
			④街路灯の整備	ソーラー発電式の防犯灯を兼ね街路灯を設定								完了
			⑤河川の見守り活動の推進	秋光川河川を中心に清掃活動とパトロール実態調査	○	○	○	○	○	○		継続
	安全で安心に暮らせるまちづくり		① 防災（自主）の緊急連絡体制の充実（区事業）	各組合毎の緊急時の連絡手法と体制の確立		○	○	○	○		継続	地域調査と各種マップづくり 地域課題の調査とマップづくりを目的別に一つずつ作成し、整備とコミュニティづくりを行う。 地域内防災のマニュアル作成 高齢化社会に向けた取り組み一人暮らしの世帯の取り組み
			②避難訓練の実施要項の作成	災害時における災害弱者の避難支援マニュアル作成		○	○	○	○	○	継続	
			③防犯・交通危険箇所調査	日常生活での危険箇所を調査、		○	○	○	○	○	継続	
			④子ども見守り隊の発足	ウォーキングがてらの見守り活動		○	○	○	○	○	継続	
			⑤高齢化社会に向けた体制づくり	通いの場、卓球広場等口コミ予防推進		○	○	○	○	○	継続	
	伝統文化をみんなで支えるまちづくり		①公民館活動（出前講座等）の充実	各種講座の開催		○	○	○	○	○	継続	桜まつり等、遊歩道を活かすイベントの実施 さくら遊歩道を活用したスケッチ大会や撮影会など地域の負担にならないイベントづくりを心掛け、区民のみならず区内の企業等も参加できる仕組みづくりを行い、伝統的行事の継承に繋げていく。
			② 等伝統的行事の振興	伝統的行事の継承と伝承を行う		○	○	○	○	○	継続	
			③工業団地企業等との交流の場	地域と工場の相互交流を図る、企業訪問		○	○	○	○	○	継続	
			④野口調整地の整備活用（区の事業として）	グラウンドゴルフやイベント会場として活用		○	○	○	○	○	継続	
			⑤桜まつり等のイベントの実施	遊歩道を活かしたイベント企画（区の事業として）		○	○	○	○	○	継続	

リーディングプロジェクト：秋光川さくら遊歩道の整備

